

Title	癌と人 第25号 目次
Author(s)	
Citation	癌と人. 25
Issue Date	1998-03-31
Text Version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/11094/23845
DOI	
rights	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/>

第 25 号 目 次

◎ 題 字 ◎

財団法人 大阪癌研究会
理事長 千代賢治



* 表紙絵解説

「蟹」のいわれ

蟹の絵は川俣順一大阪大学名誉教授にお願いして描いてもらったものである。

癌に関係ある学会のシンボルマークに蟹の図案化したものがよく用いられている。

癌と蟹の関係の歴史は遠くギリシャ時代にさかのぼる。ギリシャの医聖ヒポクラテス著述のところどころに、今日私どもがいう癌と思われる記録がある。ヒポクラテスはそれを「カルキノス」と呼んでいる。カルキノスというのは日常一般に用いられていた言葉で、蟹のことである。ヒポクラテスが記述しているという病気（癌）の格好が蟹に似ていたのでもそれを呼び名とした。

今日、欧米では日本でいう癌をカルチノーマと呼んでいる。それはカルキノスと言葉からきたもので、両者は同義語である。

ヒポクラテスはカルキノス（蟹）という日常語を純然たる医学語とした人である。癌と蟹の関係はそれ以来続いている。

• ごあいさつ	千代賢治	1
• がんの検診に思う	田口鐵男	2
• 日本における輸血医療の現状と問題点	松本圭史	3
• 最近の癌研究の潮流	濱岡利之	6
• 人は複数のウイルスと癌細胞の無症候キャリア	加藤四郎	9
• ホルモン補充療法 (HRT) の功罪 —— 婦人科癌とのかかわりについて ——	奥平吉雄	12
• 「激増する肺癌」 —— その有効な予防と対策 ——	藤田昌英	16
• 会社の健康診断を受けましょう	高井新一郎	20
• 癌化に関わる分子のストレスシグナル伝達 及び細胞接着における役割：癌研究への1つの アプローチ	南康博	23
• がん遺伝子Etsと発癌、浸潤	吉田幸一	25
• トマト、ショウジョウバエに学ぶ免疫 システム	三宅健介	27
• 甲状腺癌を正確に判定する遺伝子診断法 (ABRP) の開発	高野徹	29
• 骨肉腫と骨形成	吉川秀樹	31
• ナチュラルキラー細胞と私	渋谷彰	33
• 『生体防御』	吉開泰信	35
• 合理的・科学的な癌化学療法の確立を 目指して	藤原康弘	37
• 「ガンとヒトと酵母」	田中誠司	39
• 大阪の思い出	前原喜彦	41
• 大腸癌予防のための疫学的臨床試験	石川秀樹	43
• 平成8年度事業報告	大阪癌研究会	45
• 平成9年度収支予算書		47
• 平成8年度収支計算書等		48
• 平成9年度事業計画書		52
• 平成9年度寄附者御芳名		53
• 財団法人大阪癌研究会寄附行為		55
• (財)大阪癌研究会役員・評議員・賛助会員名簿		58